

# トレースチェック PLUS

ご使用前にこの添付文書をよくお読み下さい。

## 「内容」

- ① ヒト型酵素を使用し、ヒト血清と物理的性状、反応性の類似したコントロール血清です。
- ② 融解誤差の少ない液状凍結品です。
- ③ トレースキャリブ PLUS で検量した、弊社試薬での測定値を表示しています。

## 「内容」

77940 トレースチェック PLUS

Level 1 2 mL × 3本

Level 2 2 mL × 3本

## 「使用酵素」

項目	由来
AST	ヒトリコンビナント
ALT	ヒトリコンビナント
γ-GT	ヒトリコンビナント
CK	ヒトリコンビナント
ALP	ヒトリコンビナント
LD	ヒトリコンビナント
AMY	ヒトリコンビナント
ChE	ヒト血清

## 「対象製品」

弊社 シカリキッドシリーズ、シカフィットシリーズ他。  
対象製品、自動分析装置の詳細については、弊社までお問い合わせ下さい。

## 「使用法」

本品を冷凍庫から取り出し、15～25℃にて20分静置して融解します。完全に融解したことを確認した後、穏やかに10回転倒混和して均一とします。融解後は2～8℃で保存し、24時間以内にご使用下さい。

## 「使用上の注意」

- ① 本品は弊社対象キットについて有効です。
- ② 本品は融解後1回限りの使用とし、再凍結させないで下さい。
- ③ 本品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを含有していますので、皮膚等に付着した場合は直ちに大量の水で洗い流して下さい。また、廃棄するときも大量の水で流して下さい。
- ④ 本品はHIV抗体、HCV抗体、HBs抗原、HIV抗原について陰性であることを確認しております。しかしながら、感染性因子を完全に否定できる検査はありません。したがって、取り扱いには患者検体同様に、注意して行って下さい。

## 「貯蔵方法・有効期間」

1. 貯蔵方法：-20℃以下で保存する。
2. 有効期間：表示期限まで有効。

## 「問い合わせ先」

関東化学株式会社 ライフサイエンス部  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
Tel 03-6214-1091

## 「製造販売元」

関東化学株式会社  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1  
Tel 03-6214-1091



## 『酵素活性値表』 ※、※※

下記酵素活性値は、JSCC/JCCLS 標準化対応法及び IFCC 標準化対応法としての値です。

酵素活性値は、本製造番号の製品のみ有効です。

製造番号： 5 S 0 9 6 1

使用期限： 2 0 2 7 . 0 2 . 2 0

項目	製品名	測定原理	LEVEL 1		LEVEL 2	
			活性値±不確かさ <sup>注)</sup>	管理限界	活性値±不確かさ <sup>注)</sup>	管理限界
AST	シカリキット <sup>®</sup> AST	JSCC 標準化対応法	36 ± 1.3	34 - 38	189 ± 7.6	180 - 198
	シカフィット AST					
	ラボフィット AST					
ALT	シカリキット <sup>®</sup> ALT	JSCC 標準化対応法	36 ± 1.0	34 - 38	190 ± 5.8	180 - 200
	シカフィット ALT					
	ラボフィット ALT					
γ-GT	シカリキット <sup>®</sup> γ-GT J	JSCC 標準化対応法	40 ± 1.4	38 - 42	210 ± 7.4	199 - 221
	シカフィット γ-GT					
	ラボフィット γ-GT					
CK	シカリキット <sup>®</sup> CK	JSCC 標準化対応法	104 ± 3.0	99 - 109	550 ± 16.0	522 - 578
	シカフィット CK					
	ラボフィット CK					
	シカフィット CK II					
ALP	シカリキット <sup>®</sup> ALP	JSCC 標準化対応法	136 ± 4.7	129 - 143	721 ± 25.2	685 - 757
	シカリキット <sup>®</sup> ALP-IFCC	IFCC 標準化対応法	50 ± 2.0	47 - 53	260 ± 10.5	247 - 273
LD	シカリキット <sup>®</sup> LDH J	JSCC 標準化対応法	72 ± 2.0	68 - 76	373 ± 9.6	354 - 392
	シカフィット LD-IFCC	IFCC 標準化対応法	75 ± 2.4	71 - 79	388 ± 11.4	369 - 407
AMY	シカリキット <sup>®</sup> AMY	G3-CNP 法 (JSCC 標準化対応法)	122 ± 3.6	116 - 128	634 ± 18.8	602 - 666
	シカリキット <sup>®</sup> -N AMY	Gal-G2-CNP 法 (JSCC 標準化対応法)	115 ± 3.4	109 - 121	598 ± 17.7	568 - 628
	シカフィット AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JSCC 標準化対応法)	129 ± 3.8	123 - 135	676 ± 20.0	642 - 710
p-AMY	シカリキット <sup>®</sup> p-AMY	G3-CNP 法 (JCCLS 参考値)	50	47 - 53	259	246 - 272
	シカリキット <sup>®</sup> -N p-AMY	Gal-G2-CNP 法 (JCCLS 参考値)	48	46 - 50	254	241 - 267
	シカフィット p-AMY-G7	Et-G7-pNP 法 (JCCLS 参考値)	54	51 - 57	283	269 - 297
ChE	シカリキット <sup>®</sup> ChE	BZTC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	103 ± 1.8	98 - 108	525 ± 9.3	499 - 551
	シカフィット ChE J	pHBC 基質法 (JSCC 標準化対応法)	97 ± 2.3	92 - 102	513 ± 12.6	487 - 539

(単位：U/L)

注) 拡張不確かさ(包含係数  $k = 2$ )

不確かさは表示値の信頼性を表現するものです。

測定結果の判断は、管理限界を参考として下さい。